

(添付ファイル 第8号様式)

平成28年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名 | 番号 | 箇所名 | 市町名 | 再評価理由 | 全体事業概要と目的 | 事業進捗状況 | | | 事業を巡る社会経済情勢等の動向 | 費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等 | 今後の事業の見通し | |
|------|----|----------------|-----|-------|--|--------|-------|-----|---|---|---|-------------------------|
| | | | | | | 採択年 | 総事業費 | 進捗率 | | | | 事業進捗内容 |
| | | | | | | | 工事費 | 進捗率 | | | | |
| | | | | | | 目標年 | 用地費 | 進捗率 | | | | |
| 道路事業 | 2 | 一般国道477号菰野バイパス | 菰野町 | ④ | 【全体事業概要】 延長 L=2.0km 幅員 W=11.25m 主要構造物 橋梁 1橋 【事業目的】 現道交通の分散化を図り円滑な交通を確保するとともに、観光地及び物流拠点へのアクセス強化を図ります。 | H20 | 3,800 | 1% | 【実施済事業内容】 未整備 【残事業内容】 延長 L=2.0km 主要構造物 橋梁 1橋 | 菰野町内における国道477号の平成27年度の交通量は平成22年度から約15%増加。 また、平成33年には「三重とわか国体」の開催が予定され、菰野町や四日市市内では複数の会場が予定地に選定されており、菰野バイパスや四日市インターアクセス道路を利用することで関係者の円滑な移動が可能となります。このように菰野バイパスを取り巻く社会情勢は変化しており、その必要性はさらに高まっています。 | 【費用対分析効果】 B/C=2.6 【コスト削減】 耐候性鋼材の使用や防草対策工により、維持管理費抑制に努めるとともに、他工事で発生する建設発生土の使用を検討し、コストの削減を図ります。 【代替案】 現計画ルートは、最も経済的な最適ルートです。 | 平成33年度の全線開通に向け事業を推進します。 |
| | | | | | | 〽 | 3,140 | 1% | | | | |
| | | | | | | H33 | 660 | 0% | | | | |

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

平成28年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名 | 番号 | 箇所名 | 市町名 | 全体事業概要と目的 | 採択年度 | 完了年度 総事業費 | | 事業の効果 | 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 県民の意見 | 今後の課題 |
|--------|-----|-----|-----|--|------|-----------|--------|---|--|---|---|--|
| | | | | | | 前回 | 前回 | | | | | |
| | | | | | | 最終 | 最終 | | | | | |
| 港湾改修事業 | 505 | 鳥羽港 | 鳥羽市 | <p>【全体事業概要】</p> 防波堤(東) L=260m 防波堤(北) L=50m 護岸(中) L=200m 浮き棧橋 n=5基 臨港道路 L=200m 緑地・施設 A=7,317㎡ 造成 A=3,800㎡ ターミナル 1棟 その他集計等 | H6 | H21 | 12,671 | <p>【費用便益比】 B/C=1.17</p> <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な離発着が可能となり移動コストの削減が図られました。 ・港の魅力が向上し観光客が再び訪れるようになる効果が向上いたしました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑地の整備に伴い、散策しながら鳥羽港の景色を楽しむことができるようになりました。 ・施設を新しくしたことによって、賑わいあるみなとの玄関口に相応しいものとなりました。 ・施設のバリアフリーを進めることによって利便性や安全性の向上が図られています。 | 近年は観光客の入込みも減少が続いていましたが、伊勢神宮遷宮の影響で国内外での関心が高まり、平成25年に増加に転じています。 また、「伊勢志摩サミット」によって海外諸国から伊勢志摩地方への関心度が高まり、H27年度には全体入込観光客が4.3%増加し、今後も影響は大きいと推察しています。 | アンケート調査の結果、新しい施設に対し、きれいになり使いやすくなったという意見が多い一方、駐車場が駅から遠くなった、船の便数が少ないといった意見もありました。 | 今回得られた地域住民や観光客のご意見・ご意見ご要望を施設運営者と管理側が情報共有し運営の参考にしていきます。 |
| | | | | <p>【事業目的】</p> 海の観光の玄関口として賑わいのあるみなとづくりを行うとともに、効率的な入出港が可能な施設整備することにより、港の利便性と快適性の向上を図るものです。 | H22 | 12,942 | | | | | | |

平成28年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名 | 番号 | 箇所名 | 市町名 | 全体事業概要と目的 | 採択年度 | 完了年度 総事業費 | | 事業の効果 | 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 県民の意見 | 今後の課題 |
|--------|-----|-------------------------|---------|--|------|-----------|--------|--|--|---|--|---|
| | | | | | | 前回 | 前回 | | | | | |
| | | | | | | 最終 | 最終 | | | | | |
| 農道整備事業 | 501 | 伊賀地区、伊賀2期地区、伊賀3期地区、青山地区 | 伊賀市、名張市 | <p>【全体事業概要】 農道整備 L=43.0km 伊賀地区 L=10.7km 伊賀2期地区 L=17.0km 伊賀3期地区 L=10.8km 青山地区 L=4.5km</p> | S61 | H18 | 28,313 | <p><直接的効果> 費用対効果 B/C=1.78</p> <p><間接的効果> ・大型直売所への農作物の輸送に利用されており、売り上げの増加や直売所への登録者の増加等、地域の活性化に貢献しています。</p> <p>・地域の高校や民間とのコラボレーションで菜種油を利用した商品開発の取組みが始まる等、様々な波及効果が生まれています。</p> | <p>工事で開削した山の法面に植生緑化を施工したほか、有識者の方々からアドバイスをもらい、山間に生息するリスの生態に配慮したリスブリッジを設置する等、事業による環境面への配慮を行いました。</p> | <p><農業者と高齢化> 農業者数については、平成12年度の20,018人に対して、平成22年度では14,059人と約30%減少しています。</p> <p>また、65歳以上の農業者数は15%の減少となっており、高齢化人口率としては約7%の増加となっています。</p> <p><農用地利用集積面積> 作付け面積は、平成16年度が8,322haに対して、平成27年度が8,278haと0.5%の微減となっています。</p> <p>また、農用地利用集積面積は、平成16年度が1,416haだったのに対し、平成27年度には1,863haと約30%増加しています。集積率としては5.5%の増加となります。</p> | <p>伊賀市、名張市の住民1000戸にアンケート用紙を配布し、771戸から回答が得られました。</p> <p>・農業面の効果は、農業をされている方の約4割の方から、農地への通作及び農作物の出荷が便利になったと回答いただきました。</p> <p>また、農業機械の大型化については、約3割の方が大型化されたと回答しています。</p> <p>・コリドール建設による効果は、全体の約7割の方が目的地までの走行時間が短縮したと回答しています。</p> <p>また、全体の約4割の方が既存道路の接続が良くなり利便性が増したと回答いただきました。</p> | <p>老朽化した舗装の打ち替えや、交通安全施設等で改善が必要となっている箇所があるため、現在、舗装の打ち替えを一部地域で実施しています。</p> <p>今後も伊賀市、名張市と協議・調整し、老朽化した舗装の打ち替えや交通安全施設等で改善が必要な箇所において、保全対策事業の実施を検討していきます。</p> |
| | | | | <p>【事業目的】 伊賀市・名張市地域に点在する農業生産団地を環状道路で接続することにより、農産物の集出荷の合理化、消費地へのアクセスの向上を図り、地域農業の発展を目的としています。</p> | | H22 | 28,783 | <p>・地域内にある老人介護施設の利用者の送迎に活用されており、「朝夕の車の多い時間帯でも、施設利用者を時間通りに自宅まで送迎できるため、大変助かっている」とのお話をいただいています。</p> | | | | |

平成28年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名 | 番号 | 箇所名 | 市町名 | 全体事業概要と目的 | 採択年度 | 完了年度 総事業費 | | 事業の効果 | 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 県民の意見 | 今後の課題 |
|-------------|-----|-------|-----|---|------|-----------|--|---|---|--|--|---|
| | | | | | | 当初 | 当初 | | | | | |
| | | | | | | 最終 | 最終 | | | | | |
| 中山間地域総合整備事業 | 502 | 茅広江地区 | 松阪市 | <p>【全体事業概要】 農業用水施設整備L=3.47km ほ場整備 A=26.3ha 農地防災 ため池 1箇所</p> | H13 | H21 | 945 | <p>○直接的効果 (1)費用便益比 B/C = 1.17 (2)定性的効果 ほ場整備の実施により大型機械での乗り入れや作業が容易となり、用水路の維持管理の労力が軽減されました。農業用水施設整備により農業用水が安定的に供給されるようになりました。 ため池整備により堤体の安定が図られました。</p> | <p>(1)環境面への配慮 一部の排水路を環境水路として施工しています。田の畦畔工の一部に現地発生材を利用した石積みを施工しています。 (2)環境の変化 アンケート結果からは環境への影響は小さいという結果となっております。</p> | <p>農産物価格が低迷し高齢化が進んでいる中、営農意欲が低下していましたが、本事業の実施により、作業効率が向上したこと、維持管理の省力化が図られたことで、営農意欲や地域の農地を守っていかうとする気運が高まっています。</p> | <p>(1)農業面での効果は、「農作業が楽になった」「農道や用水路、排水路の維持管理が楽になった」「耕作が続けられるようになった」「耕作放棄地対策として効果があった」など評価されています。 (2)農業面以外の効果は、「集落内道路の通行がスムーズになった」「集落内の雨水排水が改善された」など評価されています。</p> | <p>高齢化が進む中、農業の後継者不足が危惧されているため、農地の担い手への集約化が課題となっています。対策としては、担い手への営農の委託の推進や、農地や農業用施設の維持管理費への補助制度の活用等を推進していくことが挙げられます。今後の中山間事業における事業の実施についてはこうした認識をふまえ、地域の人とともに考え、効率的で効果的な事業実施を行っていきたいと考えています。</p> |
| | | | | H22 | | 1,285 | <p>○間接的効果 (1)波及的効果 道路が整備されたことにより、地区内の道が健康づくり等ウォーキングに利用されるようになったという意見をいただいています。</p> | | | | | |

平成28年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

| 事業名 | 番号 | 箇所名 | 市町名 | 全体事業概要と目的 | 採択年度 | 完了年度 | | 事業の効果 | 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 県民の意見 | 今後の課題 |
|-------------|-----|------|-----|--|------|-------|---|--|---|---|--|-------|
| | | | | | | 当初 | 当初 | | | | | |
| | | | | | | 最終 | 最終 | | | | | |
| 中山間地域総合整備事業 | 503 | 志摩地区 | 志摩市 | <p>【全体事業概要】 農業用排水施設整備 L=2.75km 農道整備 L=7.95km ほ場整備 A=18.5ha 農地防災 ため池 3箇所 農業集落道 L=1.62km 農業集落排水 L=1.47km 集落防災安全施設 排水機場 2箇所 防火水槽 2箇所</p> <p>【事業目的】 農業用排水施設整備、農道整備、ほ場整備などの農業生産基盤整備の実施により農作業の省力化と農業経営の安定化を図る。 農業集落道整備、農業集落排水整備などの農村生活環境整備を実施することにより、地域の活性化を図る。</p> | H22 | 2,400 | <p>○直接的効果 (1)費用便益比 $B/C = 1.38$ (2)定性的効果 農作業の効率化や維持管理労力が軽減されました。</p> <p>○間接的効果 (1)波及的効果 営農意欲が高まり、耕作放棄地対策となっています。 (2)間接的効果 集落道の新設により、緊急車両の出入りが可能となりました。</p> | <p>(1)環境面への配慮 農業用排水路計画路線の上流部に石積護岸やよどみとしての機能を有する池工を設置することにより、希少生物への生育環境に配慮しました。</p> <p>(2)環境の変化 アンケート結果からは、環境への負の影響は小さいという結果となっております。</p> | <p>農産物価格が低迷し、高齢化が進んでいるなか、営農意欲が低下していましたが、農業生産基盤の実施により、生産性が向上したこと、維持管理の省力化が図られたことで、営農意欲や地域の農地を守っていくという気運が高まっています。</p> | <p>(1)農業面での効果については、「農道や用水路、排水路の維持管理が楽になった」「農作業が楽になった」「耕作が続けられるようになった」「耕作放棄地対策として効果があった」など評価されています。</p> <p>(2)農業面以外の効果では、「集落内道路の通行がスムーズにできるようになった」「集落内の排水が改善された」など、地域の農村生活環境の向上に寄与していることが評価されています。</p> | <p>高齢化により、農業の後継者不足が進み、農地のあぜ草刈や用排水路の維持管理を農家のみで実施することは困難な状況が進みつつあり、農地や農業用施設は、地域の共有資源として非農家も含めた地域全体で管理に取り組むことが必要です。その対策として、維持管理や環境美化活動に対し財政的支援が行われるようになり、本地域においてもこれを推進し、地域の活動を支援していきます。今後の中山間事業においては、こうした認識をふまえ、地域の人とともに考え、効率的で効果的な事業実施を行っていきたくて考えています。</p> | |
| | | | | | H12 | | | | | | | |
| | | | | | H22 | 2,350 | | | | | | |

